

令和8年第2回定例会における一般質問の質問者、質問内容は以下のとおりです。

令和8年6月3日(水)

| 番号 | 質問事項                         | 要旨  | 質問者         |
|----|------------------------------|---|-------------|
| 1  | 寒河江市公共施設等総合管理計画について          | (1) 個別施設計画において廃止の方針とされている施設について、見直しなどどのように考え、変更をしていくのか。<br>(2) 既存市有施設の有効活用について  | 7番<br>太田陽子  |
| 2  | 依存症（ギャンブル等）の対策について           | (1) ギャンブル依存症の観点から、競輪やオートレースの場外車券売場の開設等、リスクや問題点をどう考えているか。<br>(2) ギャンブル依存症対策について<br>ア 5月14日から20日までのギャンブル等依存症問題啓発週間なども含め、依存症への啓発の取組について<br>イ 青少年へのギャンブル依存症対策について   |             |
| 3  | 市役所内でのハラスメント対策について           | (1) ハラスメントの認識などの現状について<br>(2) ハラスメント対策について  |             |
| 4  | 本市のゼロカーボン推進とエネルギーの地産地消について   | (1) 施策の成果指標達成に向けた具体的な取組について<br>(2) 本市公共施設への再生可能エネルギー導入の現状と課題について<br>(3) 寒河江地区クリーンセンター更新計画について<br>(4) ごみ処理施設のフェーズフリー化について<br>(5) マイクログリッド導入の可能性について<br>(6) 寒河江地区クリーンセンターを避難所とする複合化について<br>(7) 寒河江地区クリーンセンターの災害対策について | 3番<br>野口康一郎 |
| 5  | 税制等の基準の違いによる「壁問題」と本市への影響について | (1) 所得税の控除額変更が本市財政にどのような影響を及ぼすと分析しているか。<br>(2) 住民税非課税世帯の増加による住民税減収と国保・介護・福祉負担の増加による市への影響について<br>(3) 国に対しどのような制度設計を求めていくか。   | 11番<br>古沢清志 |
| 6  | 「重点支援地方交付金」による市民への生活支援について   | (1) 地域商品券は何世帯何人に配れたか。<br>(2) 直近での利用状況について<br>(3) 問合せ等の状況について<br>(4) 今後、利用を検討しているメニューについて  |             |
| 7  | 寒河江市老人福祉センターの今後の在り方について      | (1) 老人福祉センターの過去5年間の事業内容、利用者数などの概要について<br>(2) 廃止するとした場合の現在実施している業務継続の考え方について<br>(3) 条例改正等による利便性の向上について<br>ア 利用料金について<br>イ 名称の変更について<br>(4) 多機能発揮の複合施設として有効活用すること   | 10番<br>伊藤正彦 |

| 番号 | 質問事項          | 要旨   | 質問者        |
|----|---------------|--|------------|
| 8  | 防災について        | <p>について</p> <p>(1) 新防災マップの改訂ポイントについて</p> <p>(2) 新防災マップ各地区説明会について</p> <p>ア これまでの結果と評価について</p> <p>イ 若年層への説明会の実施について</p> <p>ウ まるごとまちごとハザードマップへの取組について</p> <p>(3) 防災行政無線の有効活用について</p> <p>(4) 山形市の内水ハザードマップ、防災情報デジタル化施策への所感について</p> |            |
| 9  | クマ対策について      | <p>(1) 本市の見解について</p> <p>(2) 観光地のクマ対策について</p> <p>ア 観光客への影響について</p> <p>イ 注意喚起や情報共有について</p> <p>(3) こども園等のクマ対策について</p> <p>ア 現状について</p> <p>イ 指針やマニュアルについて</p> <p>ウ 現地での指導について</p> <p>エ 補助について</p>                                   | 5番<br>月光裕晶 |
| 10 | 児童生徒の安全対策について | <p>(1) 学校でのクマ対策について</p> <p>ア マニュアルについて</p> <p>イ 危険箇所の点検について</p> <p>ウ 登下校について</p> <p>エ 通学路点検について</p> <p>オ GPSについて</p> <p>(2) 新タブレットについて</p> <p>ア インターネットトラブルについて</p> <p>イ フィルタリングの考え方について</p>                                   |            |

令和8年6月5日(金)

| 番号 | 質問事項                                 | 要旨  | 質問者           |
|----|--------------------------------------|---|---------------|
| 11 | 聴覚に障がいのある人もない人も幸せを実感し、共に生きるまちづくりについて | (1) 「手話に関する施策の推進に関する法律」に基づく環境づくりのための現状と課題について<br>ア 聴覚障がい者の状況<br>イ 手話教室など手話言語取得の支援<br>ウ 公共施設への手話通訳者の配置及び大規模イベントへの派遣<br>エ 手話通訳士等人材確保<br>オ 災害時の情報提供と避難誘導<br>カ 広報誌紙等への掲載の配慮<br>キ 乳幼児期からの手話経験の機会<br>ク 児童生徒の学習機会<br>(2) 将来都市像「さくらんぼと幸せ実る 夢育むまち寒河江」の着実な実現に向けた「手話言語条例」制定について<br>ア 先進自治体の状況<br>イ 条例制定に向けたこれまでの検討結果 | 9番<br>渡 邊 賢 一 |
| 12 | さがえ未来コンソーシアムについて                     | (1) 収支決算及び監査結果の公表について<br>(2) 持続可能な運営に向けた財政面の支援について  |               |
| 13 | 農村RMOと地域カルテを活かした地域づくりの具体化について        | (1) 農村型地域運営組織（農村RMO）の位置付けと支援の方向性について<br>ア 農村RMO・地域運営組織と今後の位置付けについて<br>イ 具体的な支援策について<br>(2) 地域カルテの活用と見える化について<br>ア 地域カルテの活用<br>イ 地域カルテと予算・事業との連動<br>(3) 協力隊・集落支援員・コミュニティ補助金の一体運用について<br>ア 協力隊・集落支援員・コミュニティ補助金の一体的な活用<br>イ 人材育成と出口戦略  | 2番<br>佐 藤 政 人 |
| 14 | 鳥獣被害防止と捕獲後処理体制の広域的な再構築について           | (1) 鳥獣被害の現状と計画の検証<br>ア 本市における鳥獣被害の現状と計画の検証について<br>イ 現場の声の反映について<br>(2) 捕獲後処理とクリーンセンター・広域連携<br>ア 捕獲後処理とクリーンセンター・広域連携について<br>イ 財政負担と費用対効果について<br>(3) 有効活用（ジビエ・皮革）と地域づくりとの接点<br>ア 捕獲鳥獣の有効活用について<br>イ 地域づくりとの接点について   |               |

| 番号 | 質問事項                         | 要旨  | 質問者          |
|----|------------------------------|---|--------------|
| 15 | 公営競技場外車券売場への業態変更について         | <p>(1) 市の基本的な認識（姿勢）について</p> <p>ア 本事業は民間企業によるものであると認識しつつも、施設が市内に所在することから、市としてどのように認識しているか。</p> <p>イ 本事業の地域への影響（治安、交通、青少年環境等）をどのように考えているか。</p> <p>ウ 事業者が災害時の一時避難所としての場所提供を表明していることについて、市としてどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 住民説明・同意取得プロセスに対する市の見解について</p> <p>ア 現時点で、地域住民から本事業に対する不安や反対の声は市に寄せられているか。また、今後寄せられた場合、市は事業者にどのような対応を求める考えか。</p> <p>イ 警察署の施設詰所設置について、市としてどのように評価し、住民へどのように説明する考えか。</p> | 4番<br>児玉 崇   |
| 16 | 源泉老朽化による湯量低下問題への対応と今後の計画について | <p>(1) 源泉の現状と見通しについて</p> <p>ア このたびの湯量低下における現在の湧出状況</p> <p>イ 市民浴場が臨時休業となった頻度と、臨時休業となった場合の営業再開までの日数はどの程度要したか。</p> <p>(2) 掘削までの間の対応について</p> <p>ア 源泉の湯量変動に伴う市民浴場の臨時休業が発生しているが、市民への周知体制はどのように対応していくか。</p> <p>イ 新寒河江温泉源泉や市民浴場の所管課の事務負担増への対応策</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>ア 新温泉掘削候補地調査の現時点での進捗状況</p> <p>イ 源泉掘削に向けた今後の手続きの流れ（審議会・認可申請・議会議決・入札・工事等）と、それぞれに要する期間</p>                          |              |
| 17 | 市民浴場の持続可能な運営体制について           | <p>(1) 指定管理者制度の見直しを踏まえた検証について</p> <p>(2) 今後の運営体制と収支改善策について</p> <p>ア 現在の管理者である市は、より正常な運営に向けて業務委託先とどのように連携していくか。</p> <p>イ 現行の料金設定は適正か。持続可能性の観点から見直しの余地はないか。</p> <p>ウ このまま赤字構造が続けば、市の財政を逼迫させる懸念があるが、市としてどのように認識しているか。</p> <p>エ 中長期的な収支改善の具体的な方策は。</p>  |              |
| 18 | 教育問題                         | <p>(1) 本市児童生徒の体力・運動能力の状況</p> <p>(2) 本市における特別支援学級の整備状況</p>   | 15番<br>荒木 春吉 |